



歌浦っ子だより(学校だより)

「やさしい心 夢かがやく 歌小の子どもの育成」

平成31年 6月 7日 文責:校長 内野義和

校長講話

6月1日は佐世保市では「いのちを見つめる日」です。15年前に佐世保市の小学校で、一人の女の子がいのちを落とした日です。自他のいのちの尊さや重さを感じる日としています。

全校朝会で、いのちについて深く考えてほしいと願い、次のような話をしました。

校長の家族との別れをもとに、「いのちは限りあるもの、なくなった人を大切に思うことで、大切ないのちとして心に残る。限りあるいのちを大切に生きていこう」と話をしました。

また、絵本の読み語りをして、「いじめは人のいのちをきずつけることと同じで、絶対にしてはいけない」、「自分ひとりで生きていくことはできない。おたがいを思いやる気持ちが必要。ささえられていることに『ありがとう』」、「いのちは1つしかない。いのちを大切にすることは、生きているいまを大切にすること」と話をしました。

話は難しかったです。今月は「いのちを見つめる強調月間」です。学級で担任から今日の話さらにくわしく聞いたり、道徳や学級活動でいのちについてさらに深く考えたりして、校長が伝えなかったことが実感としてわかってくれるものと思います。

6月17日(月)～21日(金)は歌小オープンスクールとなっています。道徳の授業参観も予定しておりますので、お誘い合わせのうえ、お越しください。



学習も本格的に

運動会も終わり、6月は「動」から「静」の学習に入ります。「いのちを見つめる強調月間」でいのちについて深く考える月となります。また、学習もいよいよ本格的になります。

3日(月)朝から、アリスの会による読み語りが始まりました。

7日(金)朝からはチャレンジ先生に来ていただき、算数のチャレンジタイムが始まります。今年も子どもたちの力をつけていただくこととなります。また、4月当初から山之内先生、山下先生に来ていただき、1年生の授業の支援をしていただいています。来週からは、熊谷先生にサポートティーチャーとして全学年算数の授業で1時間ずつ習熟の学習の支援をしていただくこととなります。

本校は、ここ数年、算数の学力テストでは、全学年全国平均を超えています。もちろん子どもたちのがんばりがあってのことですが、チャレンジ先生、サポートティーチャーのご支援のおかげもあると思っています。

教職員一同、本当にありがたいと思っています。(裏面に続きます)